

# 単元指導計画表

小学校第4学年

計算のやくそくを調べよう  
【新編 新しい算数4下 P.2～9 (東京書籍)】

全7時間

**引** 「見方・考え方」を引き出す発問の視点

- 引①：持っている知識や経験から導き出させる。
- 引②：多様な考えを持たせる。
- 引③：課題を見いださせる。
- 引④：考えの見通しを持たせる。

**鍛** 「見方・考え方」を鍛える発問の視点

- 鍛①：自分だったらどう考えるかを再考させる。
- 鍛②：知識を関連させ、概念的・汎用的な考えに高めさせる。
- 鍛③：考えを比較、検討する必要性を生じさせる。
- 鍛④：考えをゆさぶる。

次	時	本時のねらい	主な学習活動	「見方・考え方」を引き出す発問 「見方・考え方」を鍛える発問	視点 番号
1	1	問題場面の数量の関係に着目し、ひとまとまりの数量を( )を用いて表すことを通して、1つの式に表し、計算の仕方を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>計算の順序のきまりを理解したり活用したりする課題を捉える。</li> <li>( )を使って1つの式に表すことを考える。</li> <li>計算の仕方を話し合う。</li> <li>学習を振り返る。</li> </ul>	<p>引① 500円玉で好きなものを2つ買います。おつりを求める時、どのように計算しますか。 〔誤答：500-(140+210)=360+210=570を示して〕 おつりの計算をどうして間違えてしまったのでしょうか。</p> <p>鍛① 鍛②</p>	引① 引②  鍛① 鍛②
	2 ※授業例	問題場面の数量の関係に着目し、2つの式を比較することを通して、乗法や除法の式が1つの数量を表していることに気づき、加法や減法と乗法と除法を含む式の表し方や計算の順序を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>四則混合の計算順序を考える課題を捉える。</li> <li>四則混合のそれぞれの2つの式を比較し、計算順序について話し合う。</li> <li>学習を振り返る。</li> </ul>	<p>引① どのような式が考えられますか。</p> <p>鍛① 鍛② どうして、かけ算やわり算を先に計算するのでしょうか。</p>	引② 引③  鍛① 鍛②
	3	四則混合の式の記号に着目し、計算の順序のきまりを問いただすことを通して、正しい計算の順序を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>四則混合の計算順序を考える課題を捉える。</li> <li>四則混合の式の計算順序について話し合う。</li> <li>学習を振り返る。</li> </ul>	<p>引① どのような順序で計算すればいいと思いますか。</p> <p>鍛① 鍛② 〔教科書P.5の問題△を解いてから〕 ( )の中の式は、どのような意味がありますか。</p>	引① 引③  鍛②
	4 ※授業例	数のまとまりや並び方に着目し、1つの式に表したり、式の意味を捉え直したりすることを通して、式が思考の筋道を表すことに気づき、説明する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>数を1つの式で求めるという課題を捉える。</li> <li>求め方を図や式で表す。</li> <li>ペアで考えを交流する。</li> <li>全体で求め方を話し合う。</li> <li>学習を振り返る。</li> </ul>	<p>引① どのような計算で求めますか。</p> <p>鍛① 鍛② 鍛③ 鍛④ どうして式から友達の考えが分かったのでしょうか。</p>	引① 引④  鍛③ 鍛④
2	5	左右の2つの式の意味に着目し、□、△などを用いて数量の関係を表したり、それを用いて計算を考えたりすることを通して、分配法則の計算のきまりを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>分配法則を理解するという課題を捉える。</li> <li>分配法則の式に表したり、計算について考えたりする。</li> <li>分配法則を使って、計算方法を工夫する。</li> <li>学習を振り返る。</li> </ul>	<p>引① 〔(11+4)×8と11×8+4×8という2つの式を示して〕 2つの式について気付くことは何ですか。 〔(98+2)×3と98×3+2×3の式を示して〕 左の式と右の式の計算方法は、どのような違いがありますか。</p> <p>鍛① 鍛②</p>	引① 引③  鍛③

2	6	<p>左右の2つの式の意味に着目し、□、△などを用いて数量の関係を式に表したり、計算を簡単に行う工夫を考えたりすることを通して、交換法則や結合法則の性質について理解を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交換法則、結合法則を用いて計算するという課題を捉える。</li> <li>交換法則、結合法則の計算について考える。</li> <li>交換法則、結合法則を使って計算を工夫する。</li> <li>学習を振り返る。</li> </ul>	<p><b>引</b> 計算する時に、きりのよい、計算しやすいまとまった数とは、どのようなものだと思いますか。</p>	<p>引① 引④</p>
	7	<p>数の分解や交換法則、結合法則に着目し、乗数と被乗数、積の関係について考えることを通して、被乗数と乗数をそれぞれ10倍すると積は100倍になるという乗法の性質を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗数や被乗数、積の関係を見出す課題を捉える。</li> <li>1位数同士のかけ算を基に、乗数を10倍したり、被乗数と乗数をそれぞれ10倍したりすると積との関係がどうなるかを考える。</li> <li>学習を振り返る。</li> </ul>	<p><b>引</b> 〔<math>3 \times 6 = 18</math>, <math>3 \times 60 = 180</math>, <math>30 \times 60 = 1800</math> の式を示して〕この3つの式で同じところと違うところはどこでしょう。</p> <p><b>鍛</b> <math>2 \times 6 = 12</math> を基にして、積が12000になる式を、どのように考えますか。</p>	<p>引① 引②</p> <p>鍛②</p>